

綾波 1

学生編



FOR
ADULT ONLY

モグダン



な
か
よ
ひ
ま
う
ら



綾波レイ1



学生編



プールの授業中・・・
クラスの男子に呼びだされました

牧〇君はいつも

いきなり

わたしのま〇こに
むしやぶりつき
チユバチユバ音をたてて
生でおま〇こを
舐めまくります・・・



夜の街

今日も数人の男の人には
ナンパされました。
路地裏で服を脱がされ
ま〇こを見せました。





クラスの男子は
わたしのおま○こが
とても好きです
ブルマを脱がせては
みんなでかわるがわる
おま○こを舐めます。・



わたしは腰まずくと
牧〇君のチ〇ボキ
しゃぶりつつ
右手で林〇君の
チン〇をしごき
交互にくわえました

ナンパされた彼に連れてラブホテルにはいりました
「今夜は彼とホテルに泊まります・・・
彼が耳元でささやきました、・・・」





わたしは
日直の後夜遅くまで
学校に残つています
そして誰もいなくなつた
暗い廊下で部活から帰つてきた
御〇君にビンビンにかたくなつた太いチ〇ボを
じっくりとしやぶらされます・・・

夕方……
学校から帰ると
カーテンを閉めきつた
わたしの部屋で
いつものようにな
クラスメートの橋〇君に
フェラチオをしました……



クラスの男子に
お〇んこをたっぷり
舐められたあと
わたしは上に
乗せられ何度も
下から突きあけるように
おま〇こにチンポを
はめまくられました…

ブルの時間体育の先生は
「綾波、ビート板運ぶの手伝え」と
わたしをブルの用具室に連れこみ
フェラをさせたり キスをしたり
いろんなエッチなことをします。・・・



ナンハされた彼と一緒にお風呂に入りました……
彼が「いっぱいはめてやるからケツを向ける」と言うので彼のほうにお尻をつきました……

わたしが日直の日は
御の君にいつも
廊下で口内発射され
精子を飲まされた後
誰もいない夜の教室で
こうして何度も
アナルファック
されています・・・



わたしの口の中に秋〇君の精子が
ビュッビュッとのどの奥まで発射されました・・・



3時間目の休み時間にB組の井の君に校舎裏に呼び出され
おっぱいをもまれた後 フェラをしました
また口内発射されたので口の中がザーメンでヌルヌルします・・・



彼はわたしのま○こに
いきなりチ○ボを挿入すると
激しくお尻をつきました
彼の太いおちん○んの先が
わたしのおま○この一番
深いところまでとどいてきます・・・

今夜も・・
お尻にいっぱい
中出しされました・・
ナルからあふれた
御〇君のザーメンが
ま〇こをつたつて
トロリと床にたれます・・



あとがき



今回はいろいろ考えながらの本作りとなつた
はじめはいつも通りのトーンをつかった漫画に
しようと考えていたものの間に合いそうもないという
事で別タイプの漫画にしようと新たに描きだした
試しに描いたこのタイプの漫画が思いがけず
いいできになりこんな短時間で無理やり中途半端に
本にするのはもったいなくなった。
どうせならもっとじっくり内容を濃くして描きたい
と思いこの本も今回見送ることにした。
そこで短時間で本にできるとしたらモノクロの
イラスト本か・・・と考え、今までためていた
らくがきなどをピックアップしてどんな本に
しようかいろんなジャンルをまとめたものに
しようか1つのジャンルにしようかと迷い
なんとか綾波オンリーの本にしようということになつた。ただ 線画だけでは物足りないと
モノトーンで色をつけてみてモノクロではまた
つまらないと1色だけ色をつけることにした。
ただいつもと違うパターンな為印刷の色校を
出してもらったところ、なんと1色刷りでは
イメージしていたものとは違う印刷になつて
しまうことが判明。そこで2色刷りでは
どうだろうかとまた色校を出してもらえば
これも自分のイメージとは違うでき。
結局イメージどおりのものを表現するには
4色刷りしかないことがわかつた。
1色のイラストに4色・・・4色と言ったら
フルカラー やんけ。そこでどうせ4色刷りに
なるのならばフルカラーにしてしまえと
今回のフルカラー本となつた。
成り行きでこうなつたのだがこの
レイのイラスト本は描いて楽しい・・・
今回はなんとなく始めた本作りで
いい方法が見つかった。スロットに行くより
この本を描くほうが楽しい。それくらい
気に入ってしまった。このタイプともう
ひとつ前のタイプの漫画の本はこれから
何種類も描くと思う。
あーもっと描きてえー！

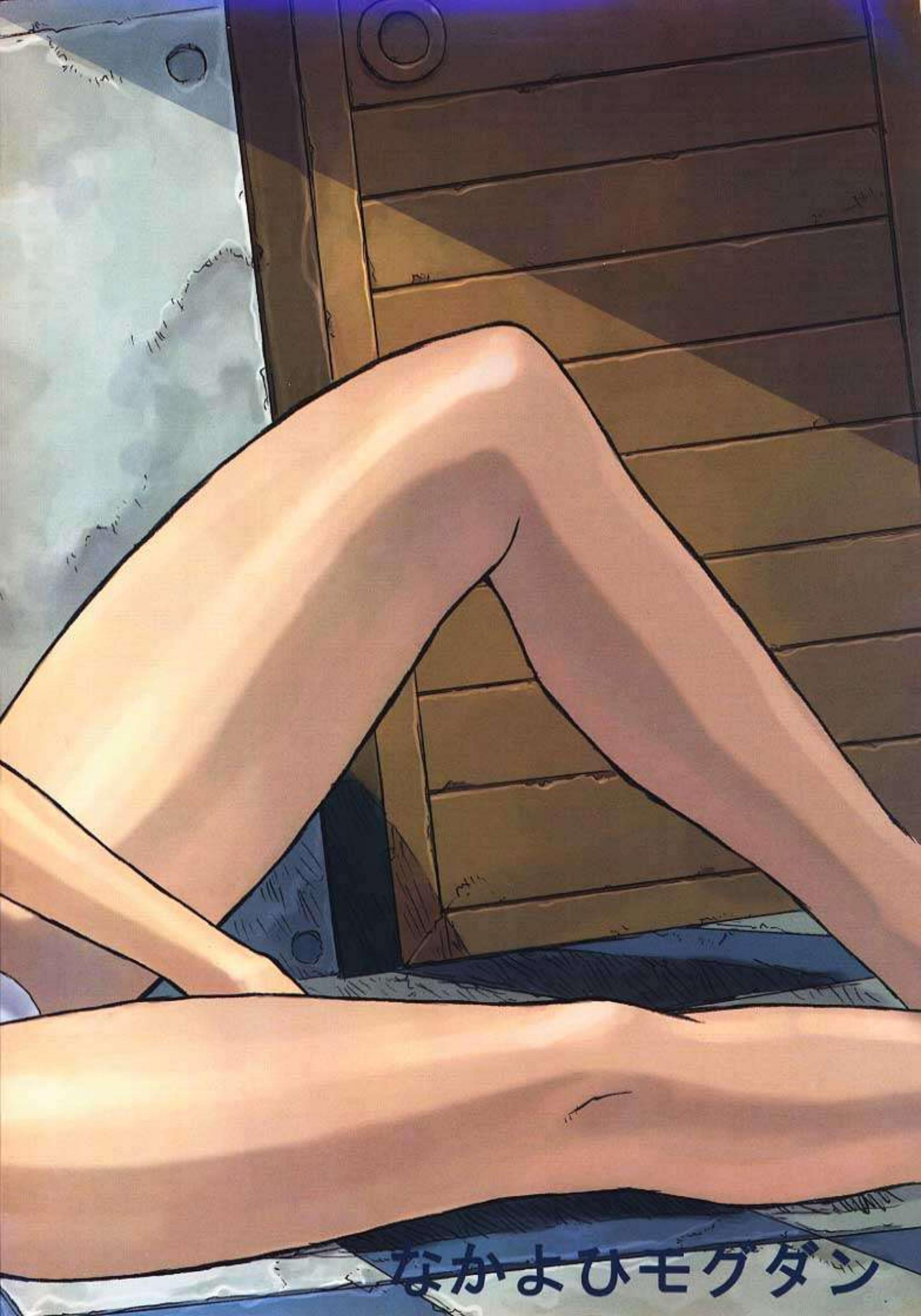
あくびけいちゃん♥



発行 「なかよひモグダン」
著者 モグダン
連絡先

発行日 2000年8月13日 夏コミ
印刷 コーシン出版
ホームページ <http://www.netlaputa.ne.jp/>
NEW





なかよひモクダシ